



3つのひかり 未来をつくる  
広島市立大学  
Hiroshima City University



心をつなぐ 知の拠点  
広島平和研究所  
Hiroshima Peace Institute

広島市立大学 大学院

# 平和学研究科 平和学専攻

**Hiroshima City University**

**Graduate School of Peace Studies**

**(Programs in Peace Studies)**



## 設置の趣旨

本学は、世界で最初の被爆地である広島に設立された総合大学として、1998年4月に附置研究機関である広島平和研究所を設置し、核兵器の廃絶に向けた学術研究を進めるとともに、世界平和の創造・維持、地域社会の発展に貢献することを目指して、平和に関する教育・学術研究に取り組んでいます。

平和学研究科では、国際関係論、国際法、憲法、近現代史を含む学際的な平和研究の学術的基礎を修得し、その上で、現実の諸問題を専門的かつ総合的に分析する能力を有するプロフェッショナルな人材を養成することにより、平和創造および平和維持に貢献することを目的としています。

## ■ 学長あいさつ



広島市立大学  
学長 前田 香織

1994年に開学した広島市立大学は、人類史上最初の被爆都市・広島に設置された公立大学として世界平和に貢献する人材の育成に積極的に取り組んでまいりました。1998年には附置研究所として広島平和研究所を設立し、平和に関する学術研究を積極的に進め、被爆地にある平和研究所として世界にその存在感を高めてきました。

広島平和研究所の学術成果を基に、平和創造および平和維持に関する教育・学術研究の世界的な拠点となることを目指し、本学は、2019年4月、平和学研究科(修士課程)を開設し、2021年4月には博士後期課程を設置しました。高度な専門知識と知見を活かして世界平和に貢献する研究者、ジャーナリスト、公務員などのプロフェッショナルな人材を養成します。広島市立大学はそのミッションをさらに力強く果たしていく所存です。

## ■ 研究科長メッセージ



広島市立大学大学院  
平和学研究科長 石田 淳

研究者のアイデンティティはその人の選ぶ「問い」です。漠然とした関心領域ではなく、十分に特定され、観察可能な事実によって検証できる「問い」を探し出してください。そしてそれは、自分の力量で、一定の時間的制約の中で(たとえば論文提出期限までに)、理論に裏打ちされ、論理的に整合的な方法で回答できなければなりません。そのためには、先行研究はどのように問いを立て、根拠に基づく説得力ある議論を展開してきたのかを確認しましょう。これらのことを念頭におきながら、みなさんが理解を深めたい社会事象について、何が《共時的多様性》と《通時的変化》をもたらしているのかをよく考えてみてください。

次に、自分自身の議論を説得力あるものにするために、相手(論文の読み手、口頭報告の聴き手)の頭の働きを想像してみてください。当然のことながら、誰もが同じ波長で考える訳ではありません。かつて私も指摘されてきたことですが、書き手にとって想像上の読み手の批判的思考力ほど筆者の作業の質を左右するものではありません。

そして最後に、問いを相互に関連づけながら、自分にとって「わかる」と感じられる範囲を広げてください。

平和学研究科にみなさんを迎えて、このような知的探求の醍醐味を共有したいと願っています。

## 平和学研究科の理念と目的について

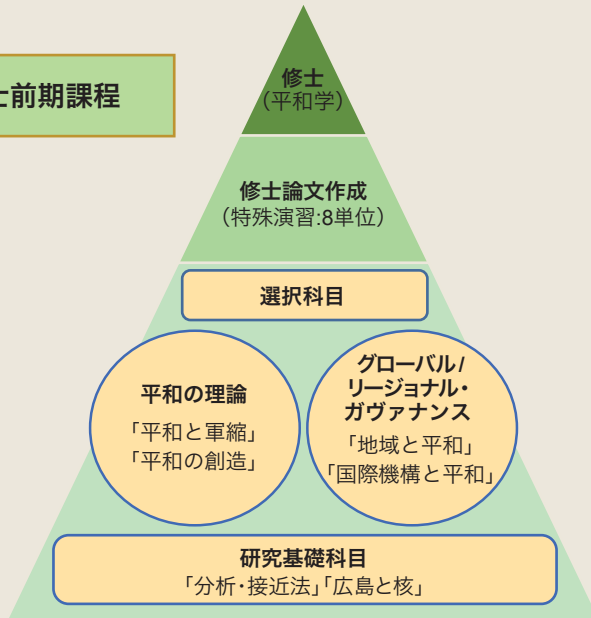
現在、国際社会は平和でも安全でもない状況が続いています。米ソの冷戦終結後も、自由主義と民主主義を基調とするグッド・ガバナンスのグローバル化や20世紀後半からの国際統合、グローバル社会化の波は停滞しています。深まる南北格差により、人間の安全保障も新たな脅威に直面し、気候変動問題などの地球環境問題も国際社会の大きな課題となっています。

日本を取り巻くアジアにおいても、核開発や軍拡競争が進展するなど、アジア全般の安全保障環境は悪化していますが、その一方でリージョナル・ガバナンスの安定化に欠かせない国際平和と安全保障機構の創設の気配は未だに見えませんが、このように国際政治的危機の構造を解明し、同時に平和秩序と平和制度を創造することは、政治的課題であるだけでなく、喫緊の学術的課題でもあります。

広島市立大学大学院平和学研究科では、国際関係論、国際法、憲法、近現代史を含む学際的な平和研究の学術的基礎を修得し、その上で、現実の諸問題を専門的かつ総合的に分析する能力を有するプロフェッショナルな人材を養成することにより、平和創造および平和維持に貢献することを目的としています。



## 博士前期課程



## ●養成する人材像

### 博士後期課程への進学

国際関係の仕組みおよび政治・ガバナンスの基本構造と人間の安全保障との関連を洞察できる能力を持ち、同時に、紛争予防と紛争解決に向けた有効な予防措置を考案できる研究者

平和創造および平和構築に向けた国際公共政策の立案・策定に貢献できる国際公務員、国際NGO・NPOの職員、および公共政策・国際関係の実務に携わる国家公務員・地方公務員

今日の国際紛争やグローバル問題など様々な事象を鋭く科学的に分析する手法を修得し、市民社会や国際社会に向けて平和創造の視点から発信する力を有するジャーナリストおよびメディア専門家

## 博士前期課程のカリキュラム

核戦争の脅威と悲惨さを学び、その上で、戦争と平和の歴史、およびこれまで人類が開発してきた平和創造の手法を修得することを目指します。これらを系統的に修得するため、授業科目を「研究基礎科目」「平和の理論」「グローバル/リージョナル・ガバナンス」の3つの科目区分で構成し、それぞれの科目区分をさらに小さな科目群に区分しています。

| 科目区分               | 科目群     | 履修要件      | 科目名                 | 単位数 | ◎日本語と英語で提供<br>○英語で提供(日本語は不可) |
|--------------------|---------|-----------|---------------------|-----|------------------------------|
| 全研究科共通科目           |         | 2単位選択必修   | 人間論A (人文・社会学)       | 2   |                              |
|                    |         |           | 人間論B (自然科学)         | 2   |                              |
|                    |         |           | ヒロシマと核の時代           | 2   | ◎                            |
|                    |         |           | 日本論                 | 2   |                              |
|                    |         |           | 研究倫理                | 2   |                              |
|                    |         |           | 情報と社会               | 2   |                              |
|                    |         |           | 道具論                 | 2   |                              |
|                    |         |           | 都市論                 | 2   |                              |
| 研究基礎科目             | 分析・接近法  | 4単位以上選択必修 | 平和学                 | 2   | ◎                            |
|                    |         |           | グローバル・ガバナンス論        | 2   | ○                            |
|                    |         |           | 現代社会と平和             | 2   |                              |
|                    |         |           | 現代国際法と平和            | 2   | ◎                            |
|                    |         |           | 日本国憲法と平和主義          | 2   |                              |
|                    |         |           | 地方自治と平和             | 2   |                              |
|                    | 広島と核    | 4単位以上選択必修 | 日本の非核政策             | 2   | ◎                            |
|                    |         |           | 広島復興の歴史             | 2   | ◎                            |
|                    |         |           | 被爆の記憶               | 2   |                              |
|                    |         |           | 核文化論                | 2   | ◎                            |
|                    |         |           | 広島被爆・復興と国際社会        | 2   | ◎                            |
|                    |         |           | 反核運動史               | 2   | ◎                            |
| 平和の理論              | 平和と軍縮   | 2単位以上選択必修 | 軍縮国際法               | 2   | ◎                            |
|                    |         |           | 核軍縮と核軍備管理           | 2   | ○                            |
|                    |         |           | 国際人道法               | 2   |                              |
|                    |         |           | 科学と平和               | 2   |                              |
|                    | 平和の創造   | 2単位以上選択必修 | 軍縮・平和規範と国際政治        | 2   | ◎                            |
|                    |         |           | 戦争裁判と国際刑事裁判         | 2   |                              |
|                    |         |           | 平和政策論               | 2   |                              |
|                    |         |           | 戦争と平和のメディア論         | 2   | ◎                            |
| グローバル/リージョナル・ガバナンス | 地域と平和   | 2単位以上選択必修 | 東南アジアの紛争と協力         | 2   |                              |
|                    |         |           | 東南アジアをめぐる国際関係       | 2   |                              |
|                    |         |           | 韓国・北朝鮮外交と核問題        | 2   |                              |
|                    |         |           | 現代中国の政治と外交          | 2   |                              |
|                    |         |           | 現代ロシアの政治と外交         | 2   | ◎                            |
|                    |         |           | 日本の近現代史             | 2   |                              |
|                    | 国際機構と平和 | 2単位以上選択必修 | 日本の平和・安全保障政策        | 2   | ◎                            |
|                    |         |           | 国連論                 | 2   | ◎                            |
|                    |         |           | 国際環境論               | 2   | ◎                            |
|                    |         |           | 国際組織と国際制度           | 2   | ◎                            |
|                    |         |           | 地域機構と平和・安全保障        | 2   | ◎                            |
|                    |         |           | 予防外交論               | 2   |                              |
| 特殊演習               |         | 必修8単位     | 平和学特殊演習 I・II・III・IV | 各2  |                              |
| インターンシップ           |         | —         | 平和インターンシップ          | 1   |                              |

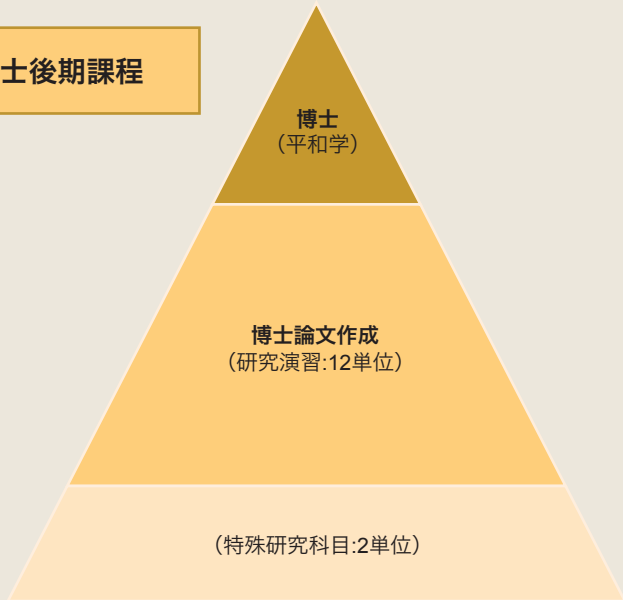
<修了要件> ①2年以上在学して所定の履修条件を満たし、30単位以上を修得すること。②修士論文を提出し、その審査と最終試験に合格すること。

※ 英語による授業科目のみで学位を取得することができます。

取得できる学位

修士(平和学)

## 博士後期課程



## ●養成する人材像

グローバル/リージョナル・ガバナンスの構造と人間の安全保障との関連を洞察できる能力を持ち、同時に、人間の安全保障と国際平和の制度構築に向けた有効な平和政策を考案できる研究者

高度に専門的な知識を持ちつつ平和創造および平和構築に向けた国際公共政策の立案・策定に貢献できる国際公務員、国際NGO・NPOの職員、および公共政策・国際関係の実務に携わる国家公務員・地方公務員

今日の国際紛争およびグローバル問題など様々な事象を科学的かつ複眼的に分析する手法を修得し、同時に市民社会や国際社会に向けて平和創造の視点から発信する力を有するジャーナリストおよびメディア専門家

## 博士後期課程のカリキュラム

博士学位論文の構想作成に必要な学識を身につける特殊研究科目と博士学位論文の作成に必要な研究指導を行う研究演習科目を置き、国際平和を脅かす軍事要因、人間の安全を脅かす非軍事要因、およびグローバル問題の構造要因を分析する編成としています。

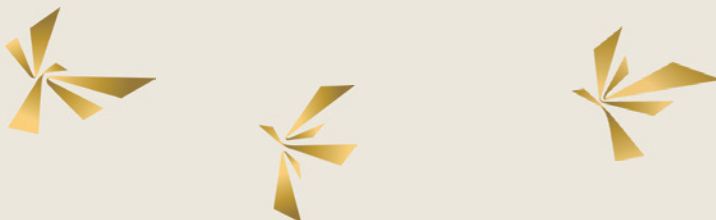
| 科目区分   | 科目名                      | 単位数 |
|--------|--------------------------|-----|
| 特殊研究科目 | グローバル・ガバナンス論特殊研究         | 2   |
|        | 現代社会と平和特殊研究              | 2   |
|        | 日本の平和・安全保障政策特殊研究         | 2   |
|        | 日本国憲法と平和主義特殊研究           | 2   |
|        | 広島の被爆・復興と国際社会特殊研究        | 2   |
|        | 平和政策論特殊研究                | 2   |
|        | 平和思想と平和運動特殊研究            | 2   |
|        | 韓国・北朝鮮外交と核問題特殊研究         | 2   |
|        | 現代中国の政治と外交特殊研究           | 2   |
|        | 現代ロシアの政治と外交特殊研究          | 2   |
|        | 日本の近現代史特殊研究              | 2   |
|        | 国連論特殊研究                  | 2   |
|        | 軍縮・平和規範とメディア言説特殊研究       | 2   |
| 研究演習   | 平和学研究演習 I・II・III・IV・V・VI | 各2  |

### <修了要件>

- ①3年以上在学して所定の履修条件を満たし、14単位以上を修得すること。
- ②博士論文を提出し、その審査と最終試験に合格すること。

取得できる学位

博士(平和学)



## 教員・研究分野 紹介



研究科長、教授  
石田 淳

Ph.D. in Political Science  
国際政治学  
(武力行使をめぐる法と政治)



副研究科長、教授  
沖村 理史

博士(法学)  
国際関係論/国際制度研究/  
国際連合研究



教授  
梅原 季哉

博士(平和学)  
国際関係論/安全保障と軍縮・非核  
規範/戦争・平和のメディア論



教授  
河上 暁弘

博士(法学)  
憲法学/地方自治論/平和学



教授  
佐藤 史郎

博士(国際関係学)  
国際関係論/安全保障論/平和学



教授  
永井 均

博士(文学)  
日本近現代史/  
日本・フィリピン関係史



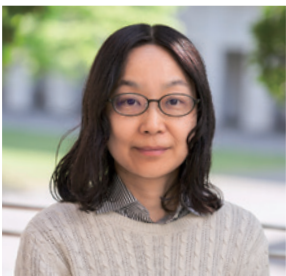
教授  
ハイマンズ ジャック E. C.

Ph.D. in Political Science  
国際関係論/国際安全保障/  
ナショナル・アイデンティティ



准教授  
加藤 美保子

博士(学術)  
国際関係論/ロシア外交/  
東アジアの国際秩序



准教授  
四條 知恵

博士(比較社会文化)  
歴史社会学/原爆の記憶と表象



准教授  
徐 顕芬

歴史学博士、博士(政治学)  
日中関係史/東アジア国際関係論/  
国際協力論



准教授  
孫 貫鎮

博士(法学)  
国際法/朝鮮半島の国際関係/  
北東アジア安全保障



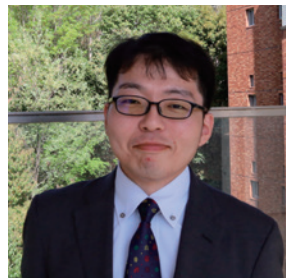
准教授  
竹本 真希子

Dr. rer. pol.  
ドイツ近現代史/  
平和思想・平和運動史



准教授  
山根 達郎

博士(国際公共政策)  
国際関係論/平和構築と復興



講師  
大下 隼

博士(法学)  
国際法/軍縮・不拡散法/  
安全保障輸出管理



講師  
森上 翔太

博士(平和学)  
広島復興史/平和行政

# 平和学研究科 修了生からのメッセージ



広島市立大学 大学院  
平和学研究科 博士前期課程 2024年3月修了

細谷 優樹さん

## 研究テーマを教えてください

欧州統合と欧州審議会文化政策

## テーマを選んだ理由を教えてください

学部時代から「文化交流と平和」というテーマに関心がありました。関心を深める中で、活動の初期段階から文化政策を活動の柱とし、協力的なヨーロッパ国際関係を築こうとしていた欧州審議会という国際組織を知り、研究したいと考えました。

## 平和学研究科を選んだ理由を教えてください

様々な学問分野の先生方がいらっしゃることで、自分の研究テーマを深めることはもちろん、多角的に研究テーマや「平和」について考える機会を得ることができるのではないかと考えたからです。被爆地である広島という土地で平和について学ぶことができる、という部分も魅力的でした。

## ■ 修了後の進路(一例)

### 【就職】

クラーク記念国際高等学校  
国際協力機構 (JICA)  
国際人材育成機構 (IM Japan)  
日本学術振興会  
日本総合研究所  
広島平和文化センター

### 【進学】

サイモンフレーザー大学大学院 (カナダ)  
広島市立大学大学院平和学研究科 博士後期課程

## ■ 奨学金制度

日本学生支援機構の奨学金等の他、平和学研究科独自の奨学金があります。  
<https://www.hiroshima-cu.ac.jp/campuslife/content0004/>

## ■ 学生寮

国際学生寮「さくら」に入居が可能です。(審査あり)  
<https://www.hiroshima-cu.ac.jp/campuslife/content0007/>



広島市立大学 大学院  
平和学研究科 博士後期課程 2026年3月修了

Lee Eon Yongさん

## 研究テーマを教えてください

米国の半導体サプライチェーン再編における日本・韓国の対応 —協力・競争の相互作用の視点から

## テーマを選んだ理由を教えてください

私はこれまで、日韓関係や国際協力の現場において、文化政策や先端技術政策に関わる実務を経験してきました。その中で、米中の技術覇権競争や「ファーウェイ問題」を契機に、半導体を中心とするグローバル・サプライチェーンが安全保障と密接に結びつく現実を目の当たりにしました。特に、日本と韓国が協力と競争を同時に経験する関係に注目し、この複雑な相互作用を理論的に明らかにしたいと考え、本研究テーマを選択しました。

## 平和学研究科を選んだ理由を教えてください

私の研究は、国際政治経済や経済安全保障など複数分野にまたがる学際的アプローチを必要とします。広島市立大学大学院平和学研究科は、多様な専門分野の教員と国際的な研究ネットワークを有し、理論と実務を結びつけた研究を深化させるのに最適な環境でした。また、被爆地である広島において、技術と安全保障の問題を「平和」の視点から考察できる点に大きな意義を感じ、本研究科を志望しました。



## ■ 入試の概要

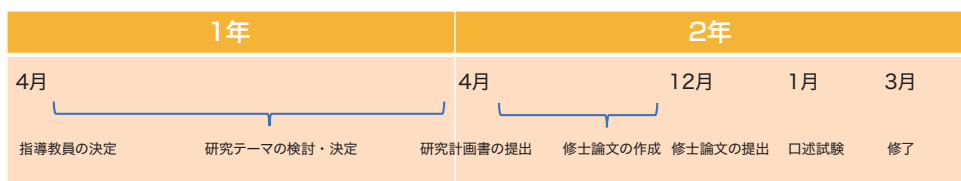
| 課程     | 試験区分       | 試験科目       | 試験日程          | 入学時期           | 入学定員 |
|--------|------------|------------|---------------|----------------|------|
| 博士前期課程 | 一般入試       | 口述試験<br>面接 | ① 7月中旬        | ① 同年10月または翌年4月 | 10   |
|        |            |            | ② 2月上旬        | ② 同年4月         |      |
|        | 社会人特別入試    | 面接         | ① 7月中旬        | ① 同年10月または翌年4月 |      |
|        |            |            | ② 2月上旬        | ② 同年4月         |      |
|        | 外国人留学生特別入試 | 書類審査<br>面接 | ① 6月          | ① 同年10月        |      |
|        |            |            | ② 11月下旬～12月上旬 | ② 翌年4月         |      |
| 博士後期課程 | 一般入試       | 面接         | ① 7月中旬        | ① 同年10月        | 4    |
|        |            |            | ② 2月上旬        | ② 同年4月         |      |

※入試に関する最新の情報は本学ウェブサイトでご確認ください。  
※面接および口述試験はすべてオンラインで行います。

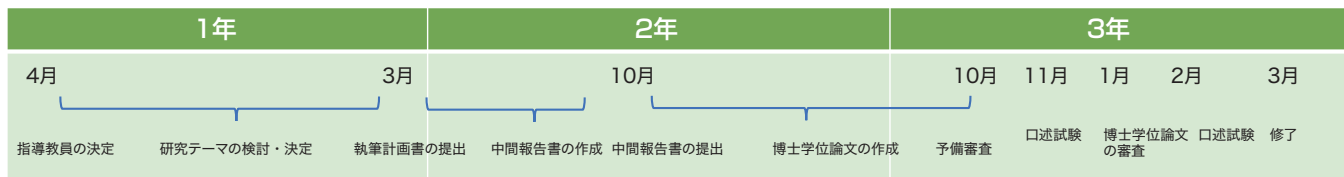


## ■ 研究指導のスケジュール ※以下は4月入学の場合のスケジュールです。

### 博士前期課程



### 博士後期課程



## ■ 社会人支援制度

意欲ある社会人の修学をサポートするために、以下の制度を設けています。

- ① **学費の免除**: 国・地方自治体・報道機関・国際機関等で働いている人を対象とした入学科・授業料の免除制度があります。(申請により審査を行います)
- ② **長期履修制度**: 入学後の申請により「長期履修学生」として認められた場合、博士前期課程においては2年分・博士後期課程においては3年分の授業料で、教育課程を延長することができます。  
※延長期間の上限: 博士前期課程では4年、博士後期課程では6年

## ■ 諸費用

|       |                |          |
|-------|----------------|----------|
| 入学検定料 | 30,000円        |          |
| 入学科   | 広島市内在住者        | 282,000円 |
|       | 広島市外在住者        | 423,000円 |
| 授業料   | 前期分(4月末までに納入)  | 267,900円 |
|       | 後期分(10月末までに納入) | 267,900円 |

### ● お問い合わせ

## 広島市立大学 広島平和研究所 事務室

〒731-3194 広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号  
E-mail: office-peace@m.hiroshima-cu.ac.jp

◎最新情報は広島平和研究所ウェブサイトをご覧ください。

右記のQRコードから  
アクセスしてください。

